



これまでの活躍が認められ、県私学表彰を受賞する

本校が、学校としての活躍が目覚しく、顕著であることを認められ、20年度の栄えある岩手県私学教育表彰を受賞した。

特に、硬式野球部・バレーボール部・ソフトボール部の活躍が評価されていることである。



文化の秋に彩りを添える

佐々木梨花子さん(1年)が、「東北地方工事安全施工推進大会優秀論文コンクール」で、みごと最優秀賞を。

女鹿成二君(3年)は「JAMCA PRIZEフォトコンテスト」で審査員奨励賞を受賞した。

それぞれ、秋の文化活動に彩りを添えた。



国際教育交流について意見交換

市の友好都市、大連市西崗区より教育局視察団が来校。案内通訳として活躍したのは、中国遼寧省出身の菊池俊介君(2年)。

今後の教育交流について、岩手・大連友好協会本木正幸副会長を仲立ちに動き出す。



欣喜! 遂につかんだセンバツ切符

第81回選抜高等学校野球大会。選考基準に基づき厳正・公平な会議を経て、本校野球部が、初のセンバツ選出を受けた。

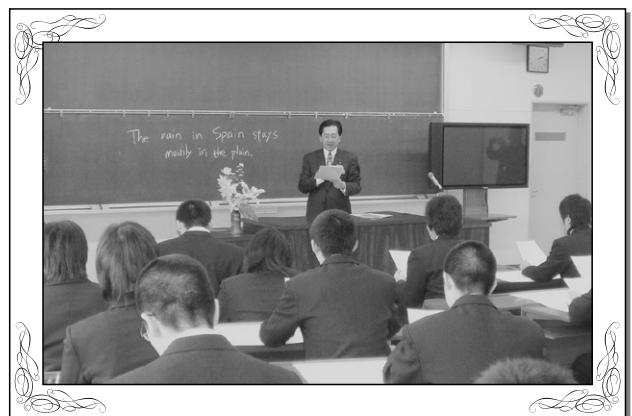
いよいよ、春の甲子園では「はつらつ花巻東」旋風を巻き起こし、大暴れするだろう。



インターハイ・国体の出場決める

県高校総体スキー大会ノルディック10フリーで、照井美沙樹選手が悲願の優勝を遂げる。

国体選手選考会でも第2位で出場権を獲得。努力が実る。



達増知事が出前授業

希聖王国岩手スクールセッションで、達増知事が出前授業を実施。

その後、「将来の岩手や、私のしたいこと」と題して、ボードを使って意見交換。

生徒にとっては、思い出に残る時間となった。